

報道関係者 各位

2020年5月29日

伊豆高原〈ゆうゆうの里〉でケアセンター新館を増築

～自然が感じられる介護居室～

(一財)日本老人福祉財団(東京都中央区)が運営する介護付き有料老人ホーム伊豆高原〈ゆうゆうの里〉(静岡県伊東市)はケアセンター(介護棟)新館を増築しました。従来から運営をしているケアセンター25戸(共用介護室除く)に加え、新たに28戸増築し、介護居室は合計53戸となりました。心身機能の維持・改善の為に必要なプログラムや集いの場が充実したケアセンターの中で、いつまでも伊豆高原の自然を満喫しながら生活いただけます。

自然に恵まれた伊豆高原のイメージに合わせて、館内は木目調のデザインを使用し、採光にも工夫を凝らしてとても明るい環境になっております。4月30日(木)に竣工式を行い、現在は順次一般居室からの住み替えを行っております。



【ケアセンター新館(正面より)】



【自然に囲まれた伊豆高原施設,手前が新館】

1. ケアセンター新館建設の経緯

1979(S54)年に有料老人ホーム伊豆高原〈ゆうゆうの里〉を開設しました。ゆうゆうの里は、入居時自立を基本としており、開設当初は一般居室のみでした。その後、介護が必要な方たちのために1985(S60)年にケアセンター(介護棟)を開設しました。

伊豆高原〈ゆうゆうの里〉では、スタッフが身近にいて快適に暮らせる介護居室を増やして欲しいとのニーズが再び高まってきたため、今回、ケアセンター新館を増築することとなりました。

2. ケアセンター新館の特徴

ケアセンター新館では、入居者が伊豆高原の特徴でもある豊かな自然を感じられるように工夫をしました。ダイルム・居室の窓を大きくし、日光を多く採り入れたり自然を感じられるように配慮しました。さらに、ルーバーには木目調のデザインを採用するなど、細かなところ



【ダイルム 奥の窓は大きく設置】

にまでこだわりました。

また、災害時には一定時間照明・コンセント・エレベータなどが使用できるように発電機を設置し、加湿器・外気処理空調機を設置することで湿度を一定に保ち、感染予防対策をおこなっております。

さらに、伊豆高原〈ゆうゆうの里〉の魅力のひとつである温泉は、ケアセンター浴室でも楽しめるようになりました。



【介護居室】

3. 竣工式について

ケアセンター新館の竣工式が4月30日（木）に開催されました。新型コロナウイルスの関係で規模を縮小し、関係者のみで執り行われました。



【竣工式の様子】

※ケアセンター新館の概要

延床面積：2,446.64 m²、建築面積：1,008.17 m²、構造：S造3階建

1F：事務室、応接室、相談室、ゲストルーム4室、屋外テラス等

2F：個室介護室14室、共用介護室1室、デイルーム、浴室等

3F：個室介護室14室、共用介護室1室、デイルーム、浴室等

◆ 会社概要

財団名：一般財団法人 日本老人福祉財団

理事長：青木 雅人

設立：1973（昭和48）年

事業：介護付き有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国7か所（佐倉、湯河原、伊豆高原、浜松、京都、大阪、神戸）で運営。

特徴：今年創立46年目を迎え、有料老人ホーム運営事業者の中では歴史が長い。自立の時期に入居して頂き、最期まで暮らせる住まい（終の棲家）を提供。1施設あたり平均300戸を超える大型施設のCCRC「高齢者コミュニティ」を展開している。

H P：<https://jscwo.jp/>

<報道関係者からのお問い合わせ先>

一般財団法人 日本老人福祉財団 本部 調査企画室兼サービス支援部 富田

T E L：03-3662-3611

E-mail：tomita-ak@yuyunosato.or.jp